

議
町

長 日程第3「町長の行政報告」に入ります。

長 皆さん、おはようございます。ことしも残すところ、あと1カ月ということで、また令和元年も終わりに近づいております。きのうは何か季節外れの大雨ということで、神奈川県内も大分水の冠水等があったみたいですが、このあたりはそこまでひどくなくてよかったなと安堵しているところでございます。富士山の雪も厚さを増しつつあるきょうこのごろでございますが、議員各位におかれましては、ますますの御健勝のことと心からお喜びを申し上げます。

さて、去る11月25日に令和元年第4回松田町議会定例会の招集告示をいたしましたところ、議員各位におかれましては、公私にわたり大変御多用な中、全員の御出席を賜り、ここに本定例会が開催されますことを、まずもって厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。それでは、議会に先立ちまして、貴重なお時間を拝借して、日を追って行政運営の一端を御報告させていただきます。

まず、大雨、台風関係でございます。8月末に、九州北部を襲った大雨、また、9月8日の夜から9日の朝方にかけて、特に千葉県を中心に大きな被害を及ぼした台風15号、さらには10月12日の夜に関東地方に上陸し、松田町を直撃した台風19号の被害に遭われました全ての皆様方に対し、心からお見舞いを申し上げます。台風19号における本町の被害につきましては、人的被害はありませんでしたが、広範囲で大きな被害があり、土砂の撤去や断水における給水の手配、水道施設の早期復旧等インフラ機能にも多くの被害をもたらしました。また、寄地区の土佐原地内においては、土砂の流入による住宅等の半壊や一部損壊等がありました。本町において、町民生活の基盤となる道路や水道施設等の公共施設についても、迅速かつ確実な機能回復を進めるための予算化を図るとともに、法令等に基づいた支援を進め、町民福祉の増進、安全・安心なまちづくりに向けて、全力を尽くしているところでもございます。改めて、これら全ての関係者の御協力等々にですね、感謝を申し上げます。今後も発生し得る災害に対しましては、町民自主防災会と行政などが役割分担や日ごろからの対策等について準備、訓練することで、町民の安全・安心につながるよう、引き続き取り組んでまいります。

続きまして、8月17日から10月17日までの延べ9日間、15会場において、本年で6年目となります協働のまちづくり座談会を行いました。休日や平日の夜間といった時間帯にもかかわらず、232名の方々に御参加をいただき、多くの意見や提案、要望をいただいております。今回の座談会も、主に各自治会からいただいた地域別テーマに沿って語り合うことを中心に、意見交換会を行いました。特に、自治会役員の担い手不足や存続、災害対応についてのテーマが多くありました。町からの行政報告としては、総合計画に関する説明や、時間に余裕があった場所については各施策や事業の説明をさせていただいております。いただきました御意見、御要望につきましては、財源確保や必要性、重要性等の優先順位を考慮した上で、可能な範囲で来年度以降の予算等に反映していきたいというふうに考えております。

次に、足柄上地域から60名の選手が参加いたしました「第41回自転車の安全な乗り方、足柄上地区大会」が8月22日に開催をされました。町からは2チームエントリーし、松田小学校5年生8人が参加をしていただきました。団体の部では、惜しくも入賞を逃してしまいましたが、個人の部で8位という見事な成績をおさめる選手もいて、大変うれしく思っているところでもございます。日ごろの練習に際しましては、選手はもとより、町交通指導隊、保護者、松田小学校の先生、PTAの皆さんなど多くの御協力を賜り、交通安全への意識を高めていただいていることに、改めて感謝を申し上げる次第でございます。

続いて、8月24日は、酒匂川町民親水広場などを会場に開催されました恒例の「第42回まつだ観光まつり」と「第20回あしがら花火大会」につきましては、ことしも実行委員会や町観光協会、また花火を共同で打ち上げている開成町や、花火に御協賛くださった方々、観光まつりの裏方として汗を流していただいた多くの関係者の皆様方の多大な御協力を賜りましたことを、まずもってここで御礼を申し上げます。当日は、来賓といたしまして、国会議員や県議会議員様、神奈川県副知事、姉妹町の佐藤横芝光町町長、近隣市町の首長や議長様など、多くの皆様方に御来場いただき、盛大に大会の式典を行うことができました。午後4時20分からパレードがロマンス通りをスタートし、かながわ民族芸能50選に選ばれている松田大名行列の鮮やかな舞の姿が、見物客を楽しませており

ました。特にことしは、小学生の奴振りのスタート場所が、例年はJR松田駅前からでしたが、ことしはパレードの出発場所から演技披露されるなど、文化と伝統を次世代へ継承していただく意識を、改めて感じたところがございます。そして、まつりのフィナーレを飾るあしがら花火大会は、ことしも天候に恵まれ、あしがら松田の夏、そしてことしの夏休みの最後を飾る花火1,500発を約5万4,000人の方々に楽しんでいただきました。またステージでは、ことしは町制110周年を記念して、ふるさと大使の北川大介さんをお招きし、会場を大いに盛り上げていただきました。

さらに、同時に実施いたしました国際交流イベントは「スカベンジャー・ハント」と題しまして、外国籍の方々と一緒に町内を散策しながら、さまざまなミッションをクリアし、地域文化や地理的な理解及びコミュニケーションを通じて、グローバル化に対応した語学力の向上も期待される取り組みを行いました。今後も多くの方々に来町いただき、交流人口、関係人口をふやすことで、町、地域経済の好循環を図ってまいります。

続きまして、9月1日に行われました令和元年度防災訓練につきましては、昨年より約700人ほど多い2,539人の御参加をいただき、全町民を対象とした「かながわシェイクアウト訓練」、各自主防災会ごとに避難経路確認や、初期消火訓練などなどを行い、小田原市消防本部や自衛隊にも御協力を賜り、実施をいたしました。町消防団につきましては、各自主防災会での訓練指導を実施し、町職員につきましては、地震に伴う松田町防災対策本部運営訓練、実動訓練といたしまして、道路・橋梁等の重要施設の被害状況確認訓練、医療救護所・福祉避難所開設訓練などを実施いたしました。今回の防災訓練において気づいた課題や、その対応方法については検証を行い、早急な対応並びに準備に備えてまいります。

次に9月14日、町民文化センター大ホールにて、70歳以上の2,860の方を対象に長寿をお祝いいたします令和元年度松田町敬老会を開催いたしました。町内の100歳以上の方は5名いらっしゃり、最高齢は103歳となり、当日の午前中に2名の方へ花束と記念品を直接手渡ししてまいりました。ことしの余興では、町内の皆様方の演奏などに加えまして、神奈川県警音楽隊の演奏などが行

われ、年齢問わず、全町民でお祝いをしていただきました。引き続き、「笑顔あふれる幸せなまち 松田」を目指して、高齢者が生きがいを持って、日常的に交流できる居場所づくりなどにも取り組んでまいります。

続きまして、山形県最上川中流の緑豊かな田園地帯に静かにたたずむ文化の濃い町、山形県河北町にて開催されました「第13回谷地どんがまつり」の最終日の9月16日に行われました、光の演出で飾る伝統行事である「第10回全国奴まつり」に、松田町大名行列保存会を初め、神奈川県では相模原市の小原宿本陣祭実行委員などが参加し、力強い奴振りと、あでやかな囃子屋台の競演が繰り広げられました。本町の名行列は、第1回開催時に参加して以来10年ぶりの参加となり、今回は、私自身は日帰りとなりましたが、保存会の皆様と一緒に伺い、全国のさまざまな大名行列の歴史を感じてまいりました。御協力、御参加をいただきました町大名行列保存会の関係各位の皆様方には、町の伝統・伝承文化の継承やPRを担っていただきましたことに、深く感謝を申し上げたいというふうに思っております。

続きまして、恒例の「秋のハーブフェスティバル2019」につきましては、松田山ハーブガーデンにおいて、10月5日から10月14日にかけて開催いたしました。ことしは7月に発足し、町民有志の方々が中心となった西平畑おもてなしの会の皆様によるハーブガーデン内の美化活動や緑化活動により、イベント開催に向けた準備に御協力いただきました。開催中は…期間中は、ハーブの中でもセージの花が咲き誇り、赤色のパイナップルセージ、チェリーセージに混ざって、紫色のメキシカンブッシュセージが際立つ光景はすばらしいものでございました。また、本年度も「オランダまつり」と題し、花の国オランダ文化体験なども開催し、約2,000人の来場があり、地域資源であります西平畑公園で心休まるひとときを過ごされておりました。

続いて、10月8日、9日に「第11回松田ちよい呑みフェスティバル」が開催され、町内20店舗の参加をいただき、町内商店街のにぎわいはもちろんのこと、松田町のPRを担っていただいていることに、深く感謝申し上げます。

次に、10月26、27日に、町民文化センター大ホールを初め、青空広場や展示ホールなどにおいて、令和元年度町文化祭を開催いたしました。ことしも2日

間にわたり、町内の園児や児童・生徒、各種団体の方々による舞台発表や作品展示等を行い、日ごろの活動の成果が発表され、約700人の来場者を楽しませていただきました。引き続き、さまざまな事業展開を図り、町への愛着を高めるとともに、新しく生まれ変わった町民文化センター施設の複合利用の促進を図ってまいります。

続きまして、11月1日に松田町創生推進拠点施設「スプラポ」のグランドオープンセレモニーを開催いたしました。当日は来賓として、町議会議長、議員の皆様方を初め、神奈川県西地域総合センター所長また大井町副町長、町自治会連合会長、地元自治会長などの地域の関係団体の方々にも御出席を賜り、盛大にオープン式典を開催することができました。この施設の改修につきましては、国の地方創生推進交付金を活用し、女性の活躍をサポートする拠点づくりとして進めてまいりました。本年5月には、子育て支援センターとファミリーサポート松田を延命寺前の子育て支援センターから移転し、子育て支援施設として利便性や利用者の拡充を目的に業務を開始しており、今まで以上に子供たちの声であふれております。また、このたび本施設のテナントエリアへ事業者の入居が決まり、女性が輝き活躍するまちづくりの拠点として、新たな一步を踏み出しているところでもございます。旧本館のエリアの1階には24時間のコインランドリーやフィットネスジムなどが入り、2階には指定管理者の事務所、職業紹介事務所、コワーキングスペースとしてスタートしております。引き続き、松田町だけでなく、広域的連携を含めて、魅力ある定住環境、子育て世代支援策等の構築に向けたさまざまな施策や魅力づくりに取り組んでまいります。

次に、11月3日寄地区、4日には松田地区において、鳥獣被害対策や地域の活性化につなげるハンター育成事業として、わな猟体験会やシカ・イノシシの解体体験会及びジビエ料理教室が開催されました。わな猟体験会には34人、解体体験会に21人、ジビエ料理教室に34人の方々が参加していただきました。引き続き、このようなハンター育成事業による体験会を通じて、有害鳥獣対策におけるさまざまな取り組みを進めることで、新たなハンターの掘り起こしや育成並びに狩猟免許取得者をふやし、地域農産物などの被害を減らすよう取り組

んでまいります。

続いて、ことし7月に初の開催を予定しておりました「第1回日本かくれんぼ選手権大会」が、台風の影響により延期となっておりますが、11月9日に開催をされました。この世界かくれんぼ選手権の日本代表選手の選考も兼ねた国内初の公式大会が、富士山の眺望と都心からのアクセスも良好な松田町を選んでくださり、酒匂川町民親水広場において、町商工青年会や松田活性化協会、あしがら青年会議所の皆様方の御協力により開催されましたことに、厚く御礼申し上げます。個人上位5名の方が、来年行われる世界大会へ出場となり、そのうち2名が松田町民でございますが、1人は小学生なので、規定により出場できませんが、1人の大人の方には期待を持って応援したいというふうを考えております。今後も、松田町での開催を考えていただいておりますので、町民や松田町のファンの皆様と一緒に、地域資源の松田町のさまざまな魅力を発信し、多くの交流人口や関係人口の獲得に取り組んでまいります。

次に、11月24日は、秋の風物詩となりました「第22回まつだ産業まつり」が、JR松田駅北口の臨時駐車場一帯で開催をされました。

まず、この産業まつりに議員各位の皆様の御来場をいただきまして、本当にありがとうございました。ことしは、心配されていた天候も当日回復し、会場ステージ上では、新しい文化や伝統芸能などを披露していただいている団体等を募集し、一層のにぎわいを図っていただきました。松田町と姉妹町であります横芝光町につきましては、毎年好評となっております特産の「ひかりネギ」などが、台風15号の影響により、広範囲で農産物が冠水するなど大きな被害に見舞われたため、ことしは販売することができませんでした。また、1週間前の17日は、横芝光町の産業まつりも、ことしは台風の影響で中止となっております。そのようなことから、本年は実行委員会等の皆様方の御尽力により、募金活動を行っていただきました。関係各位の皆様方には、感謝申し上げる次第でございます。今後も、祭りやスポーツの交流だけでなく、両町の教育文化、経済交流、さらには防災連携協力も図ってまいります。

続きまして、18万球のイルミネーションによる「第17回まつだきらきらフェスタ」は、11月30日より12月25日までの約1カ月間。本年は12月19日までは

金・土・日の3日間、12月20日から25日からは連日に開催する予定としております。ことしは開催期間中、ふるさと鉄道の夜間運行や12月24日にはものまねライブ、25日はクリスマスゴスペルコーラスなど、さまざまなイベントを企画しております。また、来年1月11日から13日までの3日間、成人を迎えた方のお祝いといたしまして、再点灯させる予定であります。毎年人気が高まるこのきらきらフェスタでございますが、議員各位におかれましては、大変御多用というふうに存じますが、ぜひ御来場いただき、本年最後のイベントとして見て感じ取ってくださいませよう、御案内申し上げる次第でございます。

以上をもちまして諸般の報告とさせていただきます。

それでは、本日の定例会に付議いたしました案件につきまして述べさせていただきます。

まず、承認第7号専決処分の承認を求めることについて（令和元年度松田町一般会計補正予算（第5号））につきましては、台風19号に伴う災害復旧対応につきまして、地方自治法第179条第1項の規定により、専決処分の承認を求めるものでございます。

次に新規条例としまして、議案第38号松田町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例については、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律により、提案させていただくものでございます。

議案第39号松田町町営住宅基金条例につきましては、町営住宅等の修繕または改良等の資金に充てるための基金を設置するために提案させていただくものでございます。

議案第40号松田町再生可能エネルギーの利用等の促進に関する条例につきましては、豊かな自然に由来する再生可能エネルギーの利用等を促進し、地域の持続的発展に資するための条例を制定するために提案するものでございます。

議案第41号松田町職員定数条例の一部を改正する条例につきましては、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律により提案するものでございます。

議案第42号松田町職員の給与に関する条例及び松田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例を定める条例の一部を改正する条例では、人事院勧告

を鑑み、職員の給与等の改正及び成年被後見人等の制限に係る措置に適正化等を図るための関係法律の整備に係る法律の施行により、成年被後見人の人権が適正に尊重されるよう、制限の適正化を図るため、所要の条例改正を行いたいので提案するものでございます。

議案第43号松田町水道事業給水条例の一部を改正する条例につきましては、水道法の一部改正に伴い、指定給水装置工事事業者の指定の更新手数料を定めるため、松田町水道事業給水条例の一部を改正したいので提案するものでございます。

議案第44号工事請負契約の変更につきましては、消費税及び地方消費税の税率の改定に伴い、令和元年度から令和2年度までの防災行政無線デジタル化改修工事における変更契約の締結について、松田町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、5,000万を超えるために議会に提案するものでございます。

議案第45号松田町寄ふれあい農林体験施設の指定管理者の指定について、地方自治法第244条の2第3項の規定により議会の議決を求めるため提案をさせていただくものでございます。

議案第46号令和元年度松田町一般会計補正予算（第6号）につきましては、主なものといたしまして、さきの松田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例による人件費の増減補正などによるものでございます。

議案第47号令和元年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、保険基盤安定繰入金等が確定したことによる歳入補正と人事院勧告による職員給与費に係る補正をさせていただくものでございます。

議案第48号令和元年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、前年度実績による繰越金確定等による歳入補正と人事院勧告による職員給与に係る歳出補正をさせていただくものでございます。

議案第49号令和元年度松田町上水道事業会計補正予算（第1号）及び議案第50号令和元年度松田町下水道事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、前年度実績による繰越金確定等による歳入補正及び人事院勧告による職員給与に係る補正をさせていただくものでございます。

議案第51号令和元年度松田町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）につきましては、さきの松田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例による人件費の増額、それに伴う一般会計繰入金の補正をさせていただくものでございます。

議案第52号令和元年度松田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）につきましては、前年度実績による繰越金等の確定による歳入補正、さきの保険料納付金の過年度分の精算金等により補正させていただくものでございます。

なお、今回提出させていただく各案件につきましては、議事の進行に伴い、私を初め副町長、教育長、所管の課長等により説明させていただきますので、よろしく御審議のほどお願いいたします。御議決賜りますようよろしくお願いいたします。

令和元年度も残りわずかとなりました。行政運営につきまして、本年も議員の皆様方、議会の皆様方の御理解をいただきましたことを、心から感謝申し上げます。来年は、十二支の初めの子年という年になります。新たな年におきましても、変わらぬ御支援をお願いするとともに、議員各位の皆様方が御健康で良き新年が迎えられることを心から御祈念申し上げ、私からの行政報告とさせていただきます。何とぞよろしくお願いいたします。以上です。

議 長 町長の行政報告を終わります。